

|  |                           |     |                      |                       |            |   |
|--|---------------------------|-----|----------------------|-----------------------|------------|---|
| <h2 style="text-align: center;">9 月 度 個 人 山 行 報 告 書</h2> |                           |     | 報告者                  | 渡辺勝利                  | 参加<br>メンバー | CL：藤田健治<br>塚本、三矢、福井<br>渡辺幸、渡辺勝<br>計 6 名 |
|  |                           |     | 報告日                  | 09 / 12               |            |   |
| 山 域  | 岐阜西濃                      | 山行日 | 06 年 09 月 10 日 ( 日 ) |                       |            |   |
| 山 名  | 犬の尾 ( 618m )              |     |                      |                       |            |   |
| 山行目的   | 0 6 年 度 干 支 登 山 の リ ト ラ イ |     |                      | コースタイム ( 天候 : 天気図記号 ) |            |   |

|           |
|-----------|
| 配布先       |
| 集会:12     |
| 山行: 1     |
| リーダー      |
| 原紙: 集会担当者 |

ルート図 ( 地図を見て正確に )

5 万 分 の 1 地 図 : 彦 根 東 部

|                                |
|--------------------------------|
| 9/10 曇り後にわか雨                   |
| 07:00 デンソー正門発                  |
| 08:30 上石津町下多良 谷畑林道車止め発<br>~ 45 |
| 09:45 林道終点                     |
| 10:15 上の林道出合い                  |
| 10:30 犬の尾頂上<br>~ 40            |
| 10:50 送電線鉄塔下<br>~ 11:10        |
| 12:00 勢州峠                      |
| 12:35 谷畑林道車止め着 ( 16 時 刈谷帰着 )   |

山行報告 干支登山として今年の1月5日に20名の大部隊で挑戦したものの、思わぬ大雪で谷畑からの林道途中で時間切れとなり断念したことが宿題の遣り残しのようにずっと頭の片隅に引っかかっていたが、この際一気に片付けようとOBの精鋭部隊6名で刈谷を出発。上石津町の下多良でR365を左折し、谷原部落の狭い路地を通り抜け右の林道に入る。今年の冬は積雪で車が入らず、つぼ足だった林道を4WDが快調に走ったものの、分岐から1kmも行かない地点で倒木がありそこに車を止め雨の降り出しそうな中を出発。林道を詰め先回の引き返し点を過ぎると、まもなく林道も荒れ始め雑草が道を覆うようになる。人の往来が途絶えるとこのように朽ちていくのかと思わせる道をしばらく詰めると林道終点となる。ここからはかすかに付けられた踏み跡を辿り一気に急登で稜線まで出るとそこには下多良からの林道が走っている。左折して20分程で二股に分かれた林道を左に進むとまもなく右側の斜面に沿って上部へのかすかな踏み跡がついているところに出る。それを辿ると中電の送電線鉄塔に至り(この踏み跡は切開きの中に三角点と登山者がつけた頂上の標識があった。

ここは全く見通しが利かないのと風通しがないので記念写真撮影後直ぐに鉄塔まで戻ると周囲の視界が良好で風通しもよく絶好の休憩ポイントであり大休止となる。復路では勢州峠の三角点(林道左の笹の中にあつた)を探したりしながら楽しく同ルートを下山。リトライ成功! 万歳<sup>×3</sup>!

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に  
  
雨模様で湿っぽかったせいか山蛭の来襲に悩まされ、多くの方がその被害にあった。但し、人にも好みがあるようで帰りの「阿下喜温泉」までお伴につれてきた人もいたようであった。

リーダー所見 天候には恵まれなかったが、大勢の賛同を頂き正月干支山登山のリベンジを果たすことができた。1年前の偵察時に比べ頂上の表示看板が5枚に増えていたが、干支の山を楽しむ粋な人たちがここにも足跡を残していることが嬉しい。来月の「猪背山」も大人数で偵察ができそうである。

|               |
|---------------|
| 確認 (リーダー)     |
| 藤田 (06/09/12) |
| 報告者 (渡辺勝利)    |